

連携

栗原市立栗原中央病院
広報誌 令和7年8月発行
編集 地域医療連携室

第95号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

循環器内科ご紹介

循環器内科部長 矢作 浩一



2017年に開設いたしました栗原中央病院循環器内科は早9年目を迎えました。これまで数多くの患者様を

ご紹介頂き、たくさんの症例を診察させていただいております。また、年間約350症例のCAG、PCI、EVT、RFCA、PMI、PMGEを精力的に施行できております。この場をお借りして感謝申し上げます。

循環器内科では、心臓や血管に関わる様々な疾患の診断・治療を行っています。心臓病や高血圧、動脈硬化など、循環器系の疾患に関する幅広い領域に対応しており、早期発見と予防に重点を置いた診療を行っています。また、当科では、心電図や超音波検査、CT・MRI検査を用いて、より詳細で正確な診断を行い、必要に応じてカテーテル治療や薬物療法、生活習慣の改善指導を行っています。睡眠時無呼吸症候群の精査（外来での簡易型ポリソムノグラフィー検査、入院のポリソムノグラフィー検査）を施行しておりCPAP/ASV療法の導入もしております。

救急対応にも力を入れており、365日24時間体制で循環器疾患の対応を行っており、狭心症・心筋梗塞の患者様の緊急PCI（経皮的冠動脈インターベンション）は大病院に引けを取らない治療を行なっております。専門医が常に最新の医療知識を元に、患者様に最適な治療を提供しております。少数精鋭の我々医師を支えるコメディカルは心臓リハビリ指導士、心不全療養指導士など資格を取得し、各自専門性を高めており、盤石の体制をとって循環器疾患に包括的に対応し、安心して治療に専念できる環境を整えております。

県北の人口減少は進んでおりますが、循環器疾患の患者様は増加の一途を辿っております。心臓疾患や血管疾患の予防、治療について不安を感じている方をぜひ栗原中央病院の循環器内科までご相談いただけますと幸いです。誌面をご覧いただいている先生方からのご紹介患者様が多ければ多いほど、私共のモチベーション維持につながっております。軽快した患者様は先生方に日常診療を逆紹介でお願いし、地域連携を深めていければと思います。今後も何卒よろしくお願いたします。

<循環器内科ホットライン> 080-5742-1964

<心電図連携FAX> 0228-21-5336

<循環器内科ホームページ> <https://www.kurihara-central-hp.jp/guide/000045.html>

【3階西病棟のご紹介】

当病棟は、病床数 49 床で ICU6 床が併設されており、循環器内科、呼吸器内科病棟となります。医療スタッフは、医師 7 名、看護師長 1 名、副看護師長 3 名、看護師 28 名、看護補助者 7 名で対応しており、夜勤スタッフは看護師 4 名で対応させて頂いております。看護師の平均年齢は 39.1 歳で、毎年少しずつ高くなってきておりますが、忙しい中でも毎日笑いの絶えない活気あふれるメンバーで、楽しく勤務に当たらせて頂いております。



患者様は、主に肺炎、肺気腫、心疾患、喘息などの疾患を対象に治療を行っておりまして、ICU には、今まで同様 心臓カテーテル検査後の重症例やアブレーション（経皮的な心筋焼却術）後の患者様、または、術後の患者様やその他人工呼吸器や NPPV（非侵襲的陽圧換気）を使用される重症例の患者様の受け入れを行っております。

循環器におきましては、急性心筋梗塞や致死性不整脈などの急性期の循環器救急診療をしており、登米市との連携も図り、4 名の医師がホットラインでの受け入れを昼夜問わず実施しております。緊急でカテーテル検査等を実施することが多く、昨年度は約 350 件でした。



アブレーション（経皮的な心筋焼却術）は週 2 回（月）（金）実施しており、入院日を含めて 4 泊 5 日の治療となります。また、心臓カテーテル検査やペースメーカー植え込みなど専門的な治療の他、心臓リハビリテーションも行い退院に向けての支援を行っております。



当病棟では、心不全再入院防止に向けて、入院中より「心不全ファイル」を使用し、患者様が退院されてからもセルフケアできるよう指導しております。退院後、初回外来時に、病棟看護師が外来で心不全ファイルを確認しながら、生活状況を把握し再指導に当たっております。ファイルを自分で記載することで、意識づけとなりセルフ

ケアに繋がるよう支援したいと考えておりますが、患者様の中には、ファイルに記入することで満足感が得られ、体調変化に気づけなかったり、指示が守れなかったりといったこともありました。地域に戻ってからも、心不全ファイルの活用を継続して使用して頂きたいと考えておりますので、もし見かけましたら患者様同様、興味を示していただけたらと思います。

また、退院後訪問の実施も目標に挙げ実施しております。MSW（医療ソーシャルワーカー）やリハビリ、栄養科、ケアマネとの多職種連携を図り今後も安心して地域に戻れる支援をしていきたいと思っておりますので今後も宜しくお願いいたします。



【臨床検査科のご紹介】

臨床検査は、診療を行う上で非常に重要な情報を提供するため、“臨床検査の精度と品質”を保証し保持することが、非常に重要です。

栗原中央病院では、国家ライセンスを持った臨床検査技師が臨床検査を行っています。毎日、診療開始前に精度管理をしてから患者様の検査を行います。また、定期的に外部機関の精度管理調査に参加し、良好な評価をいただいております。

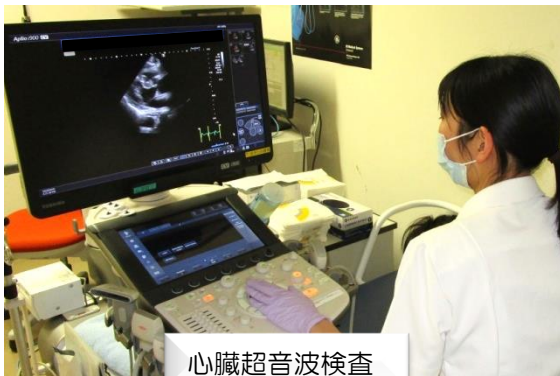
院内で実施している主な検査

＊検体検査＊

尿・糞便一般検査、微生物学的検査、生化学検査、免疫学的検査、血液学的検査、輸血検査、病理検査 等

＊生理検査＊

心臓超音波検査、下肢血管超音波検査、頸部血管超音波検査、心電図、負荷心電図、ホルター心電図および解析、睡眠時無呼吸検査、呼吸機能検査、聴力検査 等



心臓超音波検査



ホルター心電図解析



心電図



マスター負荷試験



生化学分析器



顕鏡中



細菌検査



第38回 連携のつどい“よらいん” 開催報告



令和7年5月23日（金）第38回連携のつどい“よらいん”を開催しました。

今回の“よらいん”は『退院時の情報連携～病院からの情報は足りていますか？～』をテーマに、栗原市内医療介護関係事業所から55名・院内から23名・計78名の方々にご参加いただきました。グループワークでは実際に病棟看護師が作成した看護サマリーを使用し、ディスカッションを行いました。



当院で作成したサマリーが実際、読み手から見た時必要な情報は伝えられているのか？読み手はどんな情報を欲しいと思っているのか？当院スタッフと退院先の担当者様の間で意見交換ができ大変有意義な時間を持つことができました。参加者からは「サマリーを作る側、受け取る側双方から具体的なディスカッションができて良かった」「多職種の方の話を聞くことで新たな発見ができた」など、多くの感想が寄せられました。また、院内参加者からも「自分たちの記載しているサマリーについて振り返るいい機会となった。」「よく患者様を見ていないとサマリーは書けない。患者様にもっともっと関心を持って接していく必要性を感じた」などの感想が寄せられました。これからもお互いの顔の見える関係を築き何でも話せる関係となれるよう“よらいん”を企画していきたいと思えます。

がんサロン「サロン de よらいん」



当院では毎月第2火曜日（14：00～15：30）にがんサロン「サロン de よらいん」を開いています。がん療養中の方やご家族・がん体験者が集まり、お茶を飲みながらお互いの体験や気持ちを語り合っています。

6月10日（火）のサロンでは空き缶を利用した花瓶作りを開催しました。皆さんそれぞれの感性で素敵な作品が出来上がったようです。

これからも不定期ではありますが、こういった体験活動を取り入れていきたいと思えますのでお気軽にご参加ください。



【編集後記】

まだまだ厳しい暑さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか？連日の暑さで外出の機会が減り、運動不足を実感している今日この頃です…。秋の気配を感じられるのはまだまだ先…。室内で出来るストレッチやエクササイズを取り入れながら無理せず健康を維持していきたいですね。

栗原市立栗原中央病院

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

（代表）TEL：0228-21-5330

FAX：0228-21-5350

地域医療連携室

（直通）TEL：0228-21-5335

FAX：0228-21-5336

<https://www.kurihara-central-hp.jp/>